

七ころび 八起き

第11号
平成26年
冬号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

理念

- 1) 精神医療に携わることによる自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品介绍

作業療法・デイケア 参加者の作品

右：作業療法 “午年” 切り絵
左：デイケア ちぎり絵



新年のご挨拶



院長 森 隆 志

明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろのことを申し上げ皆様のご協力をお願いし、何とか年を越せました。新年早々何となく勢いのない挨拶なのですが、皆様も、もう聞き飽きたと思われるかもしれない「精神科病院の危機」は今もなお、しっかりと存在しており、今年は更にその危機が強まると予想される故であります。人口減少による精神障害者の絶対数の低下のため、基本的な精神科病院存続の問題としては、入院対象の患者さんが減少する、更にそれに加えて、国の方針として長期入院患者の退院促進があり、これまでの精神科病院の在り方は大きな転換を余儀なくされるのは確実なことと考えられます。

小生としては、今年が否でも応でもその転換の節目と思っております。原則として現状の規模での精神科病院経営の維持、それがこの病院の今までの精神科治療の維持・発展に欠かすべからずものと、不退転の意志をもって今年は全職員一丸となって頑張っていたきたいと思っております。



行事特集

アロマセラピー体験

入院中の患者さんを対象とした作業療法のプログラムとして、アロマオイルを使ったリラクゼーションの活動を取り入れました。アロマのお話や体験を講師の先生と一緒にいき、初めはやや緊張されていた患者様も、始まってしばらくすると目を閉じて表情緩ませながら取り組まれているなど心安らいている様子でした。「リラックスできた」「気持ちよかった」といった声も聞かれ、アロマの香りとゆったりとした音楽が広がる空間の中で、癒しのひと時を過ごしていただけたようです。



消防訓練

12月9日に消防訓練を実施しました。今回ははしご車も登場し、本番さながらの想定で皆真剣に参加、怪我もなく無事に終了する事ができました。



クリスマス会

東4階病棟 大西 通明

生活訓練センターにてクリスマス会が行われました。患者さんが楽しそうな表情をされているか気を配りながら司会進行を務めさせて頂きました。



音楽療法士の鈴木先生指導のもと、夕映え楽団の演奏、カナリヤ合唱団のコーラスを始め、各病棟よりの出し物で、患者さんだけではなく職員も含めて一緒になって大変盛り上がりしました。司会はいつも緊張しますが、今回はあちこちから患者さんの笑う表情が伺えて楽しんで頂けたようで安心しました。



お知らせ

~~ 病院ホームページが新しくなりました ~~

開設してから随分時間が経っておりましたホームページですが、今回全面的にリニューアルを行いました。目的に合わせて閲覧いただけるように内容を整理し、より見やすく、優しい雰囲気での病院のことをもっと知ってもらえるようなホームページになればとの思いを込めて更新しました。広報誌のバックナンバーも閲覧できますのでどうぞご覧ください。

<http://www.tatsumakai.jp>





訪問看護のご紹介

地域医療連携室 訪問看護師より

当院では通院中の患者さんを対象に家庭や地域で安心して日常生活できるよう訪問看護を行っています。主治医や本院デイケアの他、地域の関係機関と連携を取りながら必要な支援や退院前訪問看護も行います。件数は月平均 254 件（H25 年度上半期）でその内グループホームは 51 件、個人宅は 203 件です。訪問は精神保健福祉士と看護師の二人で車や自転車に乗り、私服で訪問します。

薬や食事など生活リズム、家族・友人・デイケア等での対人関係、受診状況、体調チェック、社会資源活用への情報提供などを基本に利用者様がくつろげる場で顔を合わせて行います。訪問時に自らコミュニケーションが取りにくい利用者さんが「一緒にバレーボールしたい」と言ってくださった時、本人の力を感じることが出来るのは生活の場で行う訪問ならではの楽しさです。これからも利用者さんに寄り添った支援を続けていきたいと思えます。



血圧測定をしたり…



服薬管理の方法を一緒に考えたり…



各種制度の申請も支援したりします

医局コラム vol.2



「心臓は3つある??」



医局長 木村 省吾

新年明けましておめでとうございます。あっという間に1年が過ぎてしまいましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新年最初に初めての本コラムを書かせて頂くことになりましたが、みなさんは「心臓」という言葉で何を想像されるでしょうか？「酸素や栄養分を含んだ血液を全身に送る臓器」「止まると死に至る（新年早々から不吉で申し訳ありません…）」「近年では天皇陛下が手術されたことで話題になったが、さぞかし大変な手術なのであろう」などなど、非常に大事な臓器というイメージが先行するのではないかと思います。そのとおり、心臓は生命維持に不可欠な重要臓器の1つなのですが、実は本来の心臓以外に、「第2の心臓」「第3の心臓」と呼ばれる部位が存在するのです。では第2はどこにあるのかというと、最近では健康関連本でも取り上げられている「ふくらはぎ」です。ヒトは重力の影響で立位時には全血液の約7割が下半身に貯留しやすいのですが、ふくらはぎを鍛えたり、マッサージをしたりすることで、ふくらはぎの持つポンプ作用により血液が全身を環流しやすくなり血栓予防にもなると言われています。更には冷え症の改善効果も期待されています。そして、第3の部位は「咀嚼筋」です。咀嚼筋は主に4つの顔面の筋肉で構成されていますが、昔から言われている「よく噛むこと」は、脳への血流量を増やし脳機能の活性化や認知症の予防などにつながると考えられています。

ということから、日々の健康管理の一環として、「ふくらはぎをよく鍛えよく揉み、そしてよく噛むこと」を継続してみてもは如何でしょうか？

それでは、本年も充実した1年になるよう頑張っていきましょう！！





取 り 組 み



☆“加西農場”のご紹介☆

当院には農場があります。加西市内の緑豊かな場所で春には桜やつつじ、秋には栗や綺麗な紅葉と四季折々を堪能出来る場所にあります。

現在は3名の職員にて手間暇かけて栽培し、農場で採れた旬の野菜やお米を給食の献立に取り入れております。患者さんに美味しく食べて頂けるように日々頑張っております。



☆給食課 ～おせち料理～☆

「おせち」は「御節供(おせちく、おせつく)」の略であり、中国から伝わった五節供の行事を一般庶民がならって行うようになったものだそうです。当院でもお正月気分を味わって頂けるよう今年も準備しました。



きざみ食→



←通常食



* 外来診察医師変更のお知らせ *

平成 25 年 10 月より外来診察医師の変更があります。
*受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。



外来診察のご案内

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森	木村	森	森	高内	森
	前田	大村	高内	太田	木村	
	藤田	伊敷	谷川	前田	藤田	菊川
	谷川	太田	大村	津田	大西	大西
午後			森	堀野	大村	

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
旧年中もご閲覧いただきありがとうございました。ホームページも一新し、広報誌についても益々内容を充実させていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。 広報担当者 一同

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では 2004 年に ISO9001 を取得しています



- ①公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)